

沖ト協発第190号

令和6年3月4日

さとうきび運搬に係る
貨物運送事業者 各位

(公社) 沖縄県トラック協会
会長 新城 英一
(公 印 省 略)

さとうきび運搬における安全対策について（周知）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の業務運営にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年に入り糖業に従事する県内外事業者の死亡事故が3件立て続けに発生したことをうけ、県農林水産部より別添のとおり周知依頼がありました。

つきましては、本趣旨をご理解の上、安全対策及び事故防止の徹底に取り組んでいただくよう、お願い申し上げます。

敬具

農糖第1020号
令和6年2月22日

公益社団法人沖縄県トラック協会
会長 新城 英一 殿

沖縄県農林水産部
部長 前門 尚美
(公 印 省 略)

さとうきび運搬における安全対策に関する周知の協力依頼について

平素より、本県の糖業の振興に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る令和6年2月6日に鹿児島県喜界町の製糖工場の敷地内において、大型トラックに積載したさとうきびの荷下ろし中に、誤って後部の扉に挟まれ、その後死亡するという痛ましい事故が発生しております。

貴協会におかれましては、所属する会員に対し日頃から交通及び労災事故に関する防止対策の推進を行っていることは承知しておりますが、今期、製糖が始まって以降、沖縄県及び鹿児島県において、3件の死亡事故が発生しており、このことを重く受け止め、改めてさとうきびの運搬及び荷役作業に従事する貴協会傘下会員への注意喚起を図って頂きたく、ご協力をお願いいたします。

① 令和6年1月7日 鹿児島県和泊町

製糖工場で清掃作業中に機械に挟まれる 35歳の男性死亡 和泊町

1/8(月) 7:10 配信 16 〇 〽 〻 〼 〽

 南日本新聞社



(写真：南日本新聞社)

7日午前7時ごろ、鹿児島県和泊町の製糖工場で同町国頭、団体職員の男性（35）がサトウキビの葉などを落とす精脱葉機に挟まれ、搬送先の病院で死亡した。

沖永良部署によると、一人で機械の清掃作業をしていたとみられる。現場周辺には他に複数人おり、男性が見当たらないことに気付いた1人が、精脱葉機のベルトコンベヤー部分に上半身の一部を挟まれた男性を見つけた。同署が原因や死因を調べている。

② 令和6年1月13日 沖縄県宮古島市

重機にひかれ 作業員が死亡
宮古島の製糖工場
13日午後7時5分ごろ、宮古島市城辺の製糖工場で従業員から「作業員が重機にひかれた」と119番通報があった。宮古島署によると敷地内にいた作業員の狩俣浩信さん(55)が同市城辺IIがバックしてきた重機にひかれ、意識不明の状態です。市内の病院に搬送されたが約50分後に死亡が確認された。死因は調査中。
製糖会社によると狩俣さんは「ホイールローダー」という重機を運転し、サトウキビの圧搾作業をしていた。運転の交代で重機から降りた後、ひかれたという。
担当者は「警察に協力し、事故原因を調査した上で再発防止に努める」とコメントした。署が詳しい事故原因を調べている。

③ 令和6年2月6日 鹿児島県喜界町

喜界町の製糖工場で荷下ろし作業中に荷台にはさまれ男性が死亡・鹿児島県

2/6(火) 21:36 配信 2 〽 〻 〼 〽

 鹿児島ニュースKTS



鹿児島テレビ

6日午後、喜界町の製糖工場で、男性作業員がサトウキビをトラックの荷台から降ろす作業中、荷台後部の扉に挟まれ、病院に搬送されましたが、死亡しました。

警察によりますと、6日午後3時20分ごろ、喜界町の製糖工場で、作業員の清水龍一さん(62)がサトウキビをトラックの荷台から降ろす作業中、荷台の後部にある扉に挟まりました。

当時、清水さんはトラックの運転手と2人でサトウキビを降ろす作業をしていて、挟まれた後、自力で助手席に戻ったということですが、その後体調が悪くなり、病院に運ばれましたが、約2時間40分後に死亡しました。

警察が当時の状況について調べています。